

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教職実践演習(小)	演習	2	宇賀神 一

記載不要

**【授業のテーマ及び到達目標】**

テーマ:教員として最低限必要な資質・能力について理解する。

到達目標

- ①教育に対する教員の使命や責任について説明することができる。
- ②社会性や対人関係、コミュニケーション能力を示すことができる。
- ③現代の教育実践上の課題に対して意見を述べるすることができる。
- ④課題探求の調査を実施することができる。

**【授業の概要】**

教職課程修了時において、各自が教員として必要な基礎的な資質・能力の点から長所と課題を確認し、各自の調査や受講生間での交流をとおして、これまでの学修をふりかえり、まとめる。

**【全体の授業計画・内容】**

1. オリエンテーション(カルテの記入と振り返り・課題発見と省察)

事前学修課題:シラバスの熟読のうえ、教育実習の経験を踏まえながら、現時点での教職についての認識を整理する。【1時間】

事後学修課題:配布された資料を各自でまとめ、理解する。【1時間】

2. 受講生各自の省察の発表会と課題設定

事前学修課題:教育実習をふりかえり、自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集し、教育に対する教員の使命や責任について理解を深める。【1時間】

事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】

3. 課題探求のすすめ方 —調査・文献読解など—

事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集し、教育に対する教員の使命や責任について理解を深める。【1時間】

事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】

4. 課題探求の計画

事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集し、現代の教育課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】

5. 現代の教育課題① —子どもの社会的排除—

事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集し、現代の教育課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】

6. 現代の教育課題② —学力・能力とはなにか—

事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集し、現代の教育課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
7. 現代の教育課題③ —外国の教育との比較— 事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集し、現代の教育課題についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
8. 課題の再確認と相互交流 事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集するとともに、今後の調査計画を考える。【1時間】 事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
9. 現代教育の課題④ —地域とともにある学校— 事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集するとともに、今後の調査計画を考える。【1時間】 事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
10. 現代の教育課題⑤ —教員の「働き方改革」— 事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集するとともに、今後の調査計画を考える。【1時間】 事後学修課題:講義をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
11. 課題探求の实地調査 事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集する。【1時間】 事後学修課題:实地調査の結果を整理して、相互報告に向け準備する。【1時間】
12. 課題探求の文献調査 事前学修課題:自身の課題についての情報を新聞やニュースなどで収集する。【1時間】 事後学修課題:文献調査の結果を整理して、相互報告に向け準備する。【1時間】
13. 实地調査の相互報告 事前学修課題:相互報告の準備を行い、教育実践に関する意見をまとめる。【1時間】 事後学修課題:实地調査に関する発表をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
14. 文献調査の相互報告 事前学修課題:相互報告の準備を行い、教育実践に関する意見をまとめる。【1時間】 事後学修課題:文献調査に関する発表をふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
15. 調査報告書による最終発表会 事前学修課題:最終発表会に向けた準備を行う。【1時間】 事後学修課題:講義や相互交流などをふりかえり、自身の課題を明確にする。【1時間】
<b>【学習のあり方】</b> 課題によっては文献読解、現地調査などアクティブな活動を伴う。すべてに出席するのが原則です。遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。疑問や質問は授業中でも授業後でも必ずそのときに解決する習慣をつけましょう。
<b>【成績評価】</b> 教職履修カルテによる省察(10%)、文献調査・实地調査(30%)、発表会における貢献(10%)、調査報告書(50%)
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 最終授業で全体に対してフィードバックを行う。

【テキスト】

レジュメおよび資料を用いて行う。

【参考文献】

適宜指示する。

【実務経験の有無】